

<<<今号の目次>>>

1. コラム 持続可能な「日本型テレワーク」を考える

2. 最新情報

《お知らせ》 1件

《地方公共団体等の動き》 11件

---

■□■ 1. コラム ■□■

持続可能な「日本型テレワーク」を考える

---

鶴 光太郎 さん

経済学博士 (D. Phil.)、慶應義塾大学大学院商学研究科教授。独立行政法人経済産業研究所 (RIETI) プログラムディレクター／ファカルティフェロー

---

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、多くの企業がテレワークを導入し、テレワーク優先型、出勤と在宅勤務のハイブリット型など、積極的に活用している企業がある一方、依然として出勤のみの企業があるなど、様々な形態が見受けられます。今後の日本型テレワークについて鶴さんにお話を伺いました。

◆テレワークの先入観

テレワークと聞くと、対面接触と同等の効果を得ることは難しいと考える方も多いです。経済学では対面接触の特徴として、主に情報伝達技術、信頼関係、ソーシャリゼーション(※)の3つの側面が挙げられ、これらの特徴はテレワークでは実現できないだろう、とこれまでなんとなくの先入観で考えられていたように思います。しかし、現在のテクノロジーをもってすればかなり克服できるのです。

まず、情報伝達技術については、ビデオ会議が浸透したこともあり、ビフォーコロナと今では状況が変わってきました。これまでは対面の方が相手の表情が分かりやすいなどの暗黙知があったと思います。しかし、私自身もビデオ会議を頻繁に利用するようになって、実際に面と向かって顔を合わせるのと変わらないくらい円滑なコミュニケーションが取れることに気が付きました。

二つ目の信頼関係にも同様のことが言えます。「テレワークでは打ち解けられない」というのは先入観であり誤解です。現在のテクノロジーを駆使すれば、懸念点の多くは解決できるのです。

しかしながら、ソーシャリゼーションは、解決に向けてのハードルが高いです。学生に就職活動の助言を行う際、「相手企業の建物や社員の雰囲気など第六感を大切に」と伝えることもありますが、リモート説明会の場合はさすがに肌で感じることはできません。ビデオ会議は、フォーマルな人間関係には対応できますが、親近感や親密感を感じとることは難しいで

す。それを抜本的に変える可能性があるのが、メタバース（仮想空間）です。上司の-avatarと一緒に仕事をし、信頼関係を積み上げていくといった日が来るのも近いと思います。

◆日本型テレワークを継続するために

このような課題を克服したとしても、テレワークに対する偏見は、今でも根強く残っていると私は感じています。ジョブ型や成果主義にしないとテレワークには向いていないという意見もありますが、そう思いません。

今後の日本型テレワークは、いかに今の日本企業の働き方や仕組みのまま、テクノロジーを徹底的に使い、デスクトップ上に職場を完全に再現していくことが重要だと考えています。テレワークを行う理由も、介護や育児、通勤などの個人の問題解決に主眼を置くのではなく、どこで働けば仕事のパフォーマンスが上がるかという組織全体の視点でも考えるべきです。必然的に、組織全体の採算性向上を考えたときに、個々のパフォーマンス力も重要となります。私の分析では、テレワークには、従業員のウェルビーイングとワークエンゲージメントを高めるという結果も出ています。経営者は、従業員のモチベーションをアップしながら、業績も上げていくことを意識して、テレワークを進める必要があります。

世界情勢を鑑みても、想定外のことが毎年のように起こっています。今後は、物事を柔軟に捉え、イノベーションを起こす人材が必要となってくるでしょう。創造的な発想のためには、テレワークのような1人で集中することができる環境の方が適していることもあります。従業員がイノベーションを起こし、集中力を高めるためには、どのような場所や働き方が適しているか、日本企業には固定観念を変え、変革していくことが求められています。

※ 社会の規範や価値観を学び、社会における自らの位置を確立すること

---

■□■ 2. 最新情報 ■□■

---

《お知らせ》

【厚生労働省】

●自営型テレワーク活用セミナー（オンライン）

→自営型テレワーク活用セミナー（※）を10月27日（木）にオンラインで開催します。

自営型テレワークの基本を知り、「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」を理解することで、自営型テレワークを活用する発注者および仲介事業者と自営型テレワーカーが、トラブルを未然に防止し円滑に業務を進めることを目的としたセミナーです。ぜひご利用ください。【事前申し込み制・参加無料】

（※）自営型テレワーク活用セミナーは、会社に雇用されないで、請負契約などにより、主

に自宅などでテレワークを行う方やそのような方へ業務委託をしたいと考えている事業者の方などに向けた説明会です。

・自営型テレワーカー向け @ZOOM ウェビナー

令和4年10月27日（木）10:00 ～ 12:00

・発注者・注文者等企業向け @ZOOM ウェビナー

令和4年10月27日（木）14:00 ～ 16:00

詳細、申込はWEBサイトにて

■自営型テレワーカー向けセミナー

[https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/2022\\_w.html](https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/2022_w.html)

■発注者・注文者等企業向けセミナー

[https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/2022\\_c.html](https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/2022_c.html)

(自営型テレワークに関する総合支援サイト)

●「ユースエール認定制度」をご存じですか？

「ユースエール認定制度」は、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況が優良な中小企業（常時雇用する労働者数が300人以下のもの）を厚生労働大臣が認定する制度です。

認定を受けた企業は、ハローワークでの積極的なPRや、認定企業限定の就職面接会などへの参加といった支援を受けられるため、若者の確保が期待できます。

また、認定の取得・維持に向けて取り組んでいただく中で、企業の働き方改革にもつながり、社会に対しても働きやすい職場であることをアピールできます。

申請には、認定基準を満たし、申請書などを提出することが必要です。下記の「若者雇用促進総合サイト」では、認定基準を確認する「到達診断」や「申請書作成」を行うことができます。また、認定申請は、e-Govからオンライン申請もできますのでぜひご利用ください。各都道府県労働局や最寄りのハローワークでも相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

【ユースエール認定制度の詳細】

・ユースエール認定制度

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000100266.html>

・若者雇用促進総合サイト

<https://wakamono-koyou-sokushin.mhlw.go.jp/search/service/top.action>

《地方公共団体等の動き》

(各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。)

【青森県】青森市

「カダールなんでも座談会」を偶数月の第3金曜日に開催します！

「これって私だけ？」「こんな時どうしてる？」その日に集まったメンバーで、日常の悩みや疑問について気軽にフリーに話してみませんか。

日時：偶数月 第3金曜日 10:00～11:30

場所：青森市男女共同参画プラザ「カダール」企画ワーク室2（アウガ5階）

定員：6人

参加費：無料

<https://www.kadar-acor.jp/?p=7553>

【岩手県】大船渡市

いわて男女共同参画サポーター養成講座

岩手県の方なら、どなたでも御参加いただけます！1講座のみ（午前・午後のみ）の参加も可能です。参加はサポーター養成講座受講生が優先となります。この講座は「2022年度男女共同参画の視点からの復興・防災に関する研修会」を兼ねています。

日時：令和4年9月17日（土）10:00～14:30

会場：おおふなぼーと

参加料：無料

申込締切：令和4年9月5日（月）17:00

<https://www.aiina.jp/site/danjo/6702.html>

【神奈川県】川崎市

暮らしの中のアサーティブトレーニング

日常生活において、家族や友人、職場の人などに、言いたいことを言えていますか？アサーティブとは、自分の考えや気持ちをまっすぐに伝えることです。この講座で、自分も他人も大切にしたいコミュニケーションを学んでみませんか？

日時：令和4年8月26日（金）、9月2日（金）、9月9日（金）10:00～12:00

会場：川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）1回目：4階・多目的室、2、3回目：2階・第1、2研修室

対象：川崎市内在住・在勤・在学の女性（全3回参加可能な方優先）

定員：20名

参加費：無料

申込方法：電話又は申込フォームから

<https://www.scrum21.or.jp/seminar/sc38750.html>

【新潟県】 上越市

上映会&意見交換「おっさんずルネッサンス」

定年後の自身の自立と共に、仲間づくりから地域へ活動を広げ有意義なセカンドライフ「自分ライフ」を踏み出した男性たちの姿を追ったドキュメンタリー映画を見て話し合います。「厨房男子」(2015)の高野史枝監督による作品です。

日時：令和4年8月23日(火) 13:30~15:30

会場：上越市市民プラザ 第一会議室

定員：40人(申込順) ※映画上映会のみ参加も可

申込方法：電話、FAX、メール又は郵送にて

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/danjo/danjo-center-kouza.html>

【山梨県】

めんずキッチン

今年のめんずキッチンは【おうちで作る簡単中華】にチャレンジします。男性の家事参画へのきっかけづくりに、男性限定の料理教室に参加しませんか。

日時：令和4年8月20日(土) 10:00~12:00

会場：びゅあ富士 調理実習室

対象者：小学生以上の男性10名(父子参加も大歓迎) ※定員になり次第締切

申込方法：窓口、電話、FAX 又はメール

[https://www.pref.yamanashi.jp/challenge/calender\\_detail.php?id=3594](https://www.pref.yamanashi.jp/challenge/calender_detail.php?id=3594)

【大阪府】

OSAKA 女性活躍推進 ドーン de キラリ 2days 2022

大阪府では産学官で構成する「OSAKA 女性活躍推進会議」を設置し、オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努めており、その一環として「OSAKA女性活躍推進ドーン de キラリ 2days 2022」を開催します。女性活躍推進セミナー(ジェンダー・スペシャリスト大崎麻子氏による基調講演ほか)や、おとう飯大使であるイシバシハザマの石橋尊久氏と、その相方ハザマ陽平氏による「おとう飯」トークショーをはじめ、各種セミナー、働く女性・働きたい女性のための相談会などの様々な催しを行います。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、イベントの中止、延期、変更の可能性があります。最新情報はホームページをご覧ください。

日時：令和4年9月16日(金)、17日(土)

場所：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

申込方法：イベントにより異なりますので下記 URL からご覧ください

<http://www.pref.osaka.lg.jp/danjo/osaka-jyokatsu-kaigi/fes.html>

#### 【奈良県】奈良市

奈良で楽しく育児をするパパのための育児ハンドブックを作成しています！

奈良市では、お父さんが育児を一層楽しめるように『IKUMEN HANDBOOK for nara papa』を作成しています。男性は、妊娠、出産、育児となかなかイメージがわきにくく、子育てに関わりたくてもどう関わってよいのかわかりにくいと言われていました。そこで、パートナーの妊娠～出産、そして子どもが生まれてから6歳になるまでに知っておきたいこと、奈良市のおススメ遊びスポット、イベントなど、子育てに役立つ情報をパパ目線で1冊にまとめました。すでに育児中の方、育児準備中の方も是非一度読んでみてください！

配布対象者：母子手帳交付申請者および子育て中の希望者に配布します。

配布場所：

- ・母子健康手帳発行窓口
- ・男女共同参画室
- ・子ども育成課
- ・市民課

#### 【香川県】

香川県女性リーダー養成講座の参加者を募集します！

あらゆる分野での女性の活躍を促すことを目的に、女性が、自分らしいリーダー像を見つけ、行動を開始していくための知識やスキルを身につける連続講座を開催します。全国の様々な分野で活躍する女性リーダーから、これからの時代に求められるリーダー像を学ぶチャンス！自分を変えて一歩踏み出したい方、是非御参加ください！

日時：第1回 令和4年9月1日（木）、第2回 10月6日（木）、第3回 11月4日（金）各  
13：30～16：00 第4回 12月2日（金）13：30～16：30

場所：高松市男女共同参画センター（たかまつミライエ6階） ほか

対象者：地域活動や組織・グループのリーダーになった、又はこれからリーダーを目指す女性、自分自身のスキルアップを図りたい女性

定員：女性30名（原則として、全講座に参加できる方）

参加費：無料

申込方法：メール、FAX 又は電話にて

申込締切：令和4年8月19日（金）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenmin/sankaku/topics/joseileader.html>

#### 【愛媛県】

わたしの未来ふらす塾「人生100年時代、自分らしいセカンドステージにむけて」全3回

中年期の女性たちが仕事や子育てなどにより、実現していないことや現在興味があることにチャレンジするきっかけを作ります。令和4年度のテーマは「人生100年時代、自分らしいセカンドステージにむけて」です。

日時：令和4年9月10日（土）、9月17日（土）、10月1日（土）10：00～12：15 ※9月17日は10：00～12：00

対象：仕事や子育て等が終わった後のセカンドステージを考えられている18歳以上で県内在住の女性。おおむね全講義受講可能な方

定員：20名程度

受講料：無料

申込方法：申込フォーム、電話、FAX 又はハガキ

申込締切：令和4年8月31日（水）必着

<https://www.ehime-joseizaidan.com/site/ehime-danzyo-center/r1kouzasemina.html>

#### 【高知県】

就労支援講座 「対話力」 トレーニング

“仕事で求められる対話力（コミュニケーションスキル）”。「対話力」を磨けば、就職・転職の成功や仕事のキャリアアップに役立ちます。オンライン面接や会議でのマナー・注意すべきポイントも学べる講座です。

日時：令和4年8月28日（日）13：30～16：30

場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」 5階 視聴覚室

対象：女性

定員：20名（先着順）

受講料：500円

申込方法：電話

<https://www.sole-kochi.or.jp/info/dtl.php?ID=1803&routekbn=S>

#### 【宮崎県】

令和4年度 講師派遣事業の御案内

宮崎県男女共同参画センターでは、学校・団体・グループ・地域・事業所等の講演会や研修会に、講師を派遣しています。オンラインでの開催も実施可能です。

対象：おおむね20人以上の県内にある学校・団体やグループ、市町村、事業所等

経費：講師への謝金・旅費は、宮崎県男女共同参画センターが負担します。

そのほかの経費（資料・会場借り上げ料等）は申請者に御負担いただきます。

所要時間：おおむね1時間～1時間30分

実施要件：

- ・男女共同参画社会づくりに貢献する取組であること

・令和5年3月中旬までに実施できるもの

※派遣決定後、講師及びセンター職員との、三者事前打合せができること。

申請方法：専用フォーム、メール又はFAXにて ※開催希望日2か月前まで

<https://www.mdanjo.or.jp/haken2022/>

---

#### 【編集後記】

今回のコラムでは、テレワークの限界を先入観で決めつけない方が良いという御意見を御紹介しました。

これまで、本メールマガジンでは、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について御紹介してきましたが、その対処法の一つも「決めつけない・押し付けない」です。

例えば、「共働きでも、男性は家庭より仕事を優先すべきだ」という考えについて、自分では当たり前のことだと思っていなくても、部下や同僚等の周囲の方も同じように考えているとは限りません。特に、性別や年齢等の属性やこれまでの経験・背景等が異なると、考え方のギャップも大きくなることがあります。このようなギャップを小さくするには、日頃から職場の部下や同僚、家族と会話して、相手の考えを知ることが肝要です。

「決めつけない・押し付けない」は、多様で柔軟な働き方を目指す上での共通言語といえるでしょう。

---

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。

このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/index.html>